

まちづくりビジョン 2020



まちづくりビジョン2020

はじめに

私たち高松青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現のために活動してまいりました。

しかし、昨今のコロナウイルス感染症の影響による生活環境、経済状況の変化に加え、新しい技術による世界の変化はより加速していくことが予想されます。

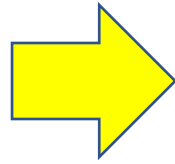
この変化に対応し、私たち高松青年会議所が市民に必要とされる、価値ある組織であり続けることは今後の高松の発展につながります。長期的な戦略に基づく活動が難しい今、時代の変化に対応するためにこれから先の10年という中長期のビジョンを策定し、活動をする必要があります。そのため、「まちづくりビジョン2020」を策定いたしました。

まち思う、ゆえに我らあり！

ほとんどの自治体で人口減少と少子高齢化により未来の存続が危ぶまれる中、私たち高松青年会議所は次代を担う若者、つまり学生たちとパートナーシップを組んで、「若者が」といっても都市化だけでなく、利便性と自然の豊かさを併せ持つ、若者が住みやすく、憧れるまちの創造を目指します。

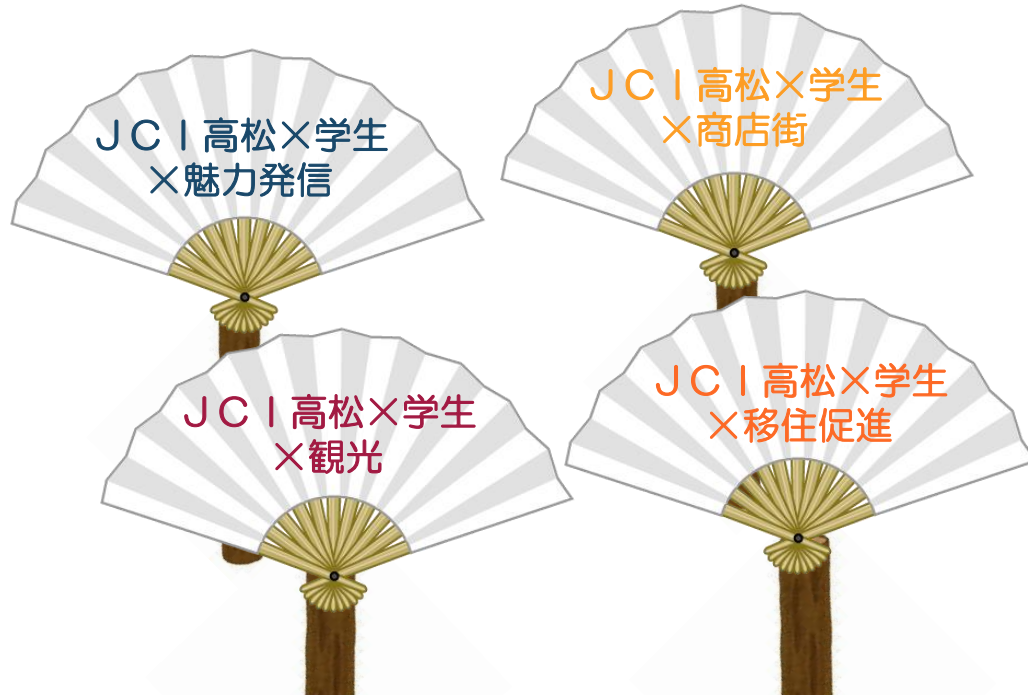
●協力して行う4つの事業

- J C | 高松×学生×魅力発信
- J C | 高松×学生×観光
- J C | 高松×学生×商店街
- J C | 高松×学生×移住促進



●目指す高松の将来像

日本一住みやすく、若者が憧れ、いきいきと暮らせるまち



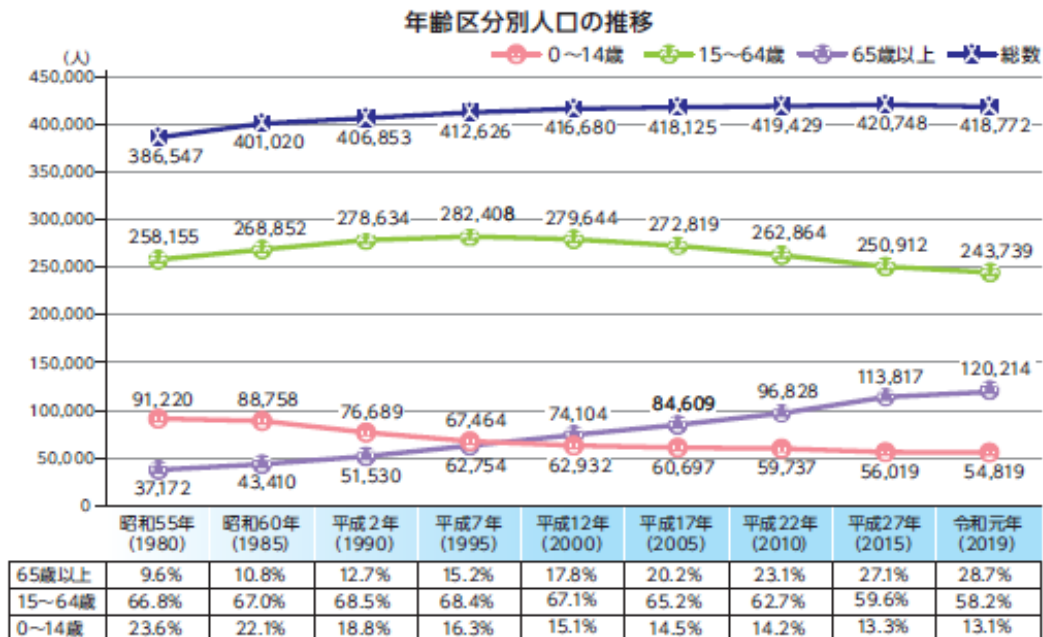
高松の人口推移

- 高松市の人口は、平成27（2015）年までは増加していましたが、それ以降減少傾向にあります。
- 年齢区別の人口で見ると、生産年齢人口（15歳～64歳）は、平成7年をピークに減少に転じ、年少人口（0歳～14歳）は、昭和55（1980）年以降、減少傾向にあります。
- 一方で、高齢者人口（65歳以上）は増加傾向にあり、平成12（2000）年以降は、高齢者人口が年少人口を上回る状況になっています。

平成27年の人口を100とした場合の人口の将来推計は、全国、高松市ともに令和27（2045）年に高齢者人口がピークを迎え、その後、減少します。

全国と高松市の傾向を比較すると、高松市は全国よりも人口減少が緩やかですが、令和27（2045）年の高齢者人口の指数は、高松市の方が高くなっています。

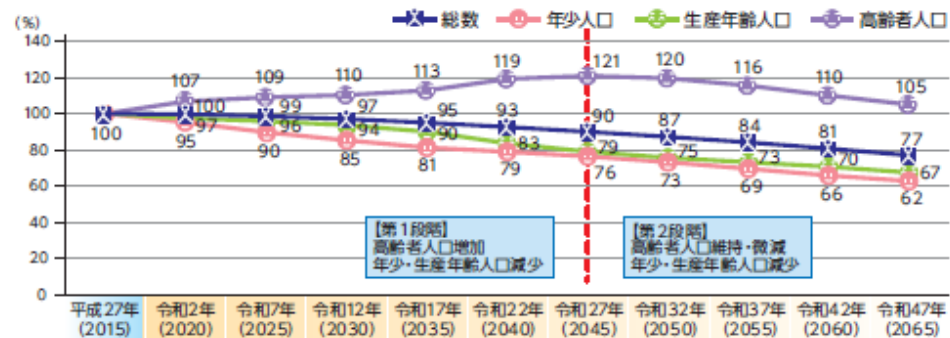
※参考資料：たかまつ人口ビジョン（令和元年度改訂版）



※平成27年までは国勢調査、令和元年は推計人口。
平成17年度合併市町(1市6町)の合計をしているほか、国勢調査の年齢不詳人口は、年齢階層毎に投分して総人口に含めている。

② 高松市の人口減少段階

高松市の人口減少段階(国立社会保障・人口問題研究所推計準拠)



	平成27年(2015)	令和27年(2045)		令和47年(2065)	
	人口(人)	人口(人)	指数	人口(人)	指数
総数	420,748	378,116	90	323,190	77
高齢者人口	113,817	137,658	121	119,501	105
生産年齢人口	250,912	197,759	79	168,690	67
年少人口	56,019	42,699	76	34,999	62

出典：日本の将来推計人口(平成29年推計)(国立社会保障・人口問題研究所ホームページ)

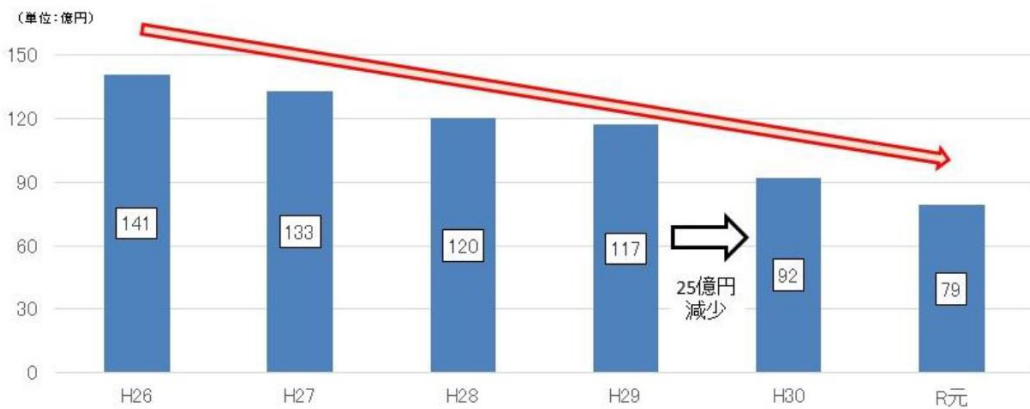
高松の財政状況

年平均10億円を超えるペースで※財政調整基金が減少し、特に近年はペースが加速しています。平成26(2014)年度からの5年間で基金残高は半分程度に減少しており、このまま対策を打たない場合、2、3年で財政調整基金が枯渇する可能性があります。

※財政調整基金とは

地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金のこと。

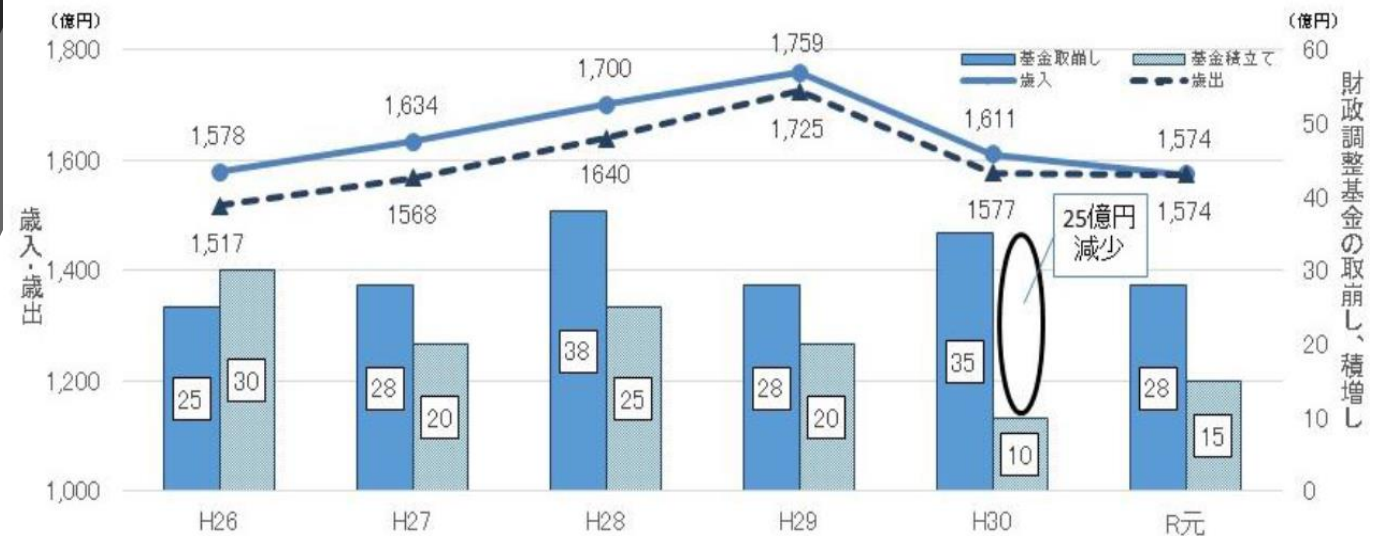
《※財政調整基金残高の推移》



※H30までは決算、R元は6月補正後

高松市における財政の現状は、予算規模では平成29年度をピークに、それ以降、圧縮しているものの、恒常的に財政調整基金の取り崩しによる対応での予算編成を実施している状況であり、平成27年度以降は、※財政調整基金の取崩し額が、決算剰余金による積増し額より大きく、財政調整基金が減少しています。

《歳入・歳出、※財政調整基金の取崩し、積増しの推移》



※ H30までは決算、R元は6月補正後
 ※ 決算剰余金による積立額を当該年度分として記載
 ※ H29はこのほか、3月補正により5億円積み増し

※参考資料：第8次高松市行財政改革計画

若者が考える 未来の高松

医療を充実させてほしい

子育て支援に力を入れて
ほしい

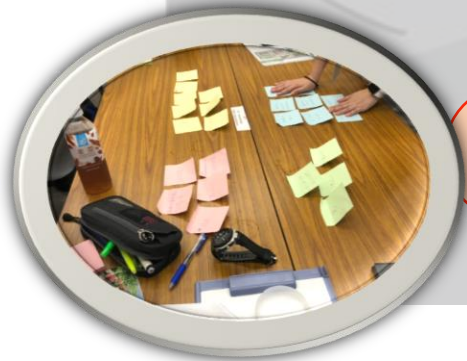


Uターン、Iターンの
人向きの政策を
充実させてほしい

新幹線を開通！
公共交通機関にもっ
と便利に！
交通安全対策の充実

若者向けの店がもっとほしい
遊び場を増やしてほしい
イベントをもっと増やして！

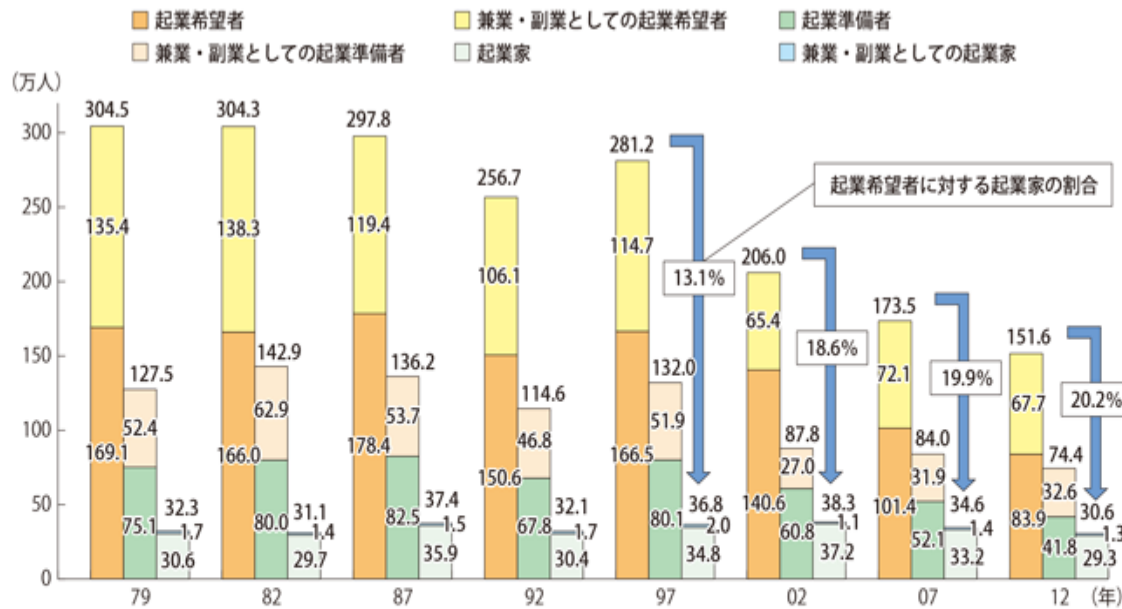
※第2期たかまつ創生総合戦略に関するアンケート
高校生・大学生アンケート自由意見より抜粋



若者(学生)起業意識の推移

若者(学生)の起業の状況を説明する前に、まず起業家全体の推移については、2-1-1図を見ると、起業準備者数は平成9(1997)年以降減少傾向にあり、その結果起業家数も徐々に減少しています。他方で、起業準備者数と起業家数の減少ペースについては、起業希望者数の減少ペースに比べて緩やかであり、起業希望者に対する起業家の割合については、平成9(1997)年から平成24(2012)年にかけて、増加しており、その結果、起業希望者数が大きく減少している一方で、毎年一定数の起業家が一貫して誕生していることが分かります。

第2-1-1図 起業の担い手の推移



資料：総務省「就業構造基本調査」再編加工

- (注)1. ここでいう「起業希望者」とは、有業者の転職希望者のうち「自分で事業を起こしたい」又は、無業者のうち「自分で事業を起こしたい」と回答した者をいう。
 2. ここでいう「兼業・副業としての起業希望者」とは、有業者の転職希望者のうち「現在の仕事のほかに別の仕事もしたい」と「自分で事業を起こしたい」を回答した者をいう。
 3. ここでいう「起業準備者」とは、起業希望者のうち「開業の準備をしている」と回答した者をいう。
 4. ここでいう「兼業・副業としての起業準備者」とは、兼業・副業としての起業希望者のうち「開業の準備をしている」と回答した者をいう。
 5. ここでいう「起業家」とは、過去1年間に職を変えた又は新たに職についた者のうち、現在は会社等の役員又は自営業主となっている者をいう。
 6. ここでいう「兼業・副業としての起業家」とは、過去1年間に職を変えた又は新たに職についた者のうち、現在は会社等の役員又は自営業主となっており、さらに現在事業の他に雇用されて別の仕事を行っている者をいう。

2-1-3図の起業家の年齢別構成を男女別に見ると、**起業家全体に占める39歳以下の割合は男女共に年々減少傾向にあります。**

しかし、**在学中の学生の企業意識の推移**を見ると、**起業希望者全体に占める、在学中でかつ起業を希望している学生の割合と、起業準備者全体に占める、在学中でかつ具体的に起業準備を行っている学生の割合について、経年の推移を見ても、在学中の学生の起業への意識が徐々に高まっていることが分かります。**



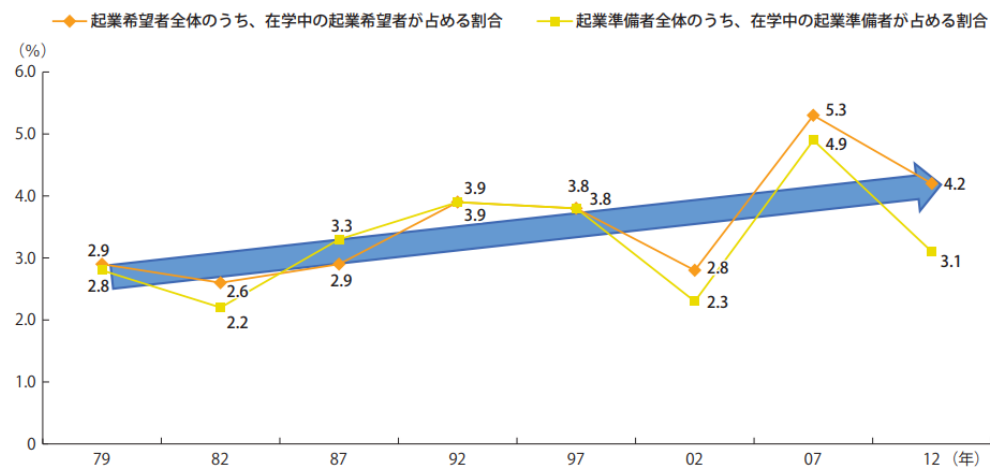
やる気に満ちた若者の増加

第2-1-3図 男女別に見た、起業家の年齢別構成の推移



資料：総務省「就業構造基本調査」再編加工
 (注)1. ここでいう「起業家」とは、過去1年間に職を変えた又は新たに職についた者のうち、現在は会社等の役員又は自営業主となっている者をいう。
 2. ここでの起業家には、兼業・副業としての起業家は含まれていない。

在学中の学生の起業意識の推移



資料：総務省「就業構造基本調査」再編加工
 (注)1. ここでいう「起業希望者全体のうち、在学中の起業希望者が占める割合」とは、現在通学が主ではあるが仕事をしており、かつ転職を希望しており「自分で事業を起こしたい」と回答した者又は、現在通学のため仕事をしていないが、「自分で事業を起こしたい」と回答した者の合計の、起業希望者全体に占める割合を算出している。
 2. ここでいう「起業準備者全体のうち、在学中の起業準備者が占める割合」とは、在学中の起業希望者のうち「開業の準備をしている」と回答した者の、起業準備者全体に占める割合を算出している。
 3. ここでいう起業希望者、起業準備者には、兼業・副業としての起業希望者、兼業・副業としての起業準備者は含まれていない。

高松の現状の課題と課題解決後の理想

JCI高松 × 学生 × まちづくり

現状

少子高齢化の進行

平成27年以降の人口減少
平成12年以降高齢人口が年少人口を上回る

人口（若者）の流出

進学・就労機会の不足に伴う
若者の転出

市場の縮小と労働力不足

生産年齢人口の減少に伴う労働力不足

悪循環

魅力・安定した職の不足

地場産業等の衰退により魅力ある
職業や安定した職が失われる

人口減少による生活への影響

人口減少による民間サービス撤退に伴う
生活利便性の低下

理想

多子若年化への転換

子育て支援の充実等による
若年層人口の増加

人口（若者）の流入

進学・就労の機会や起業支援
の充実に伴う若者の流入

市場の拡大と労働力の充足

生産年齢人口の増大に伴う
労働力充足

好循環

魅力・安定した職の充実

地場産業等の振興により魅力ある
職業や安定した職が増える

人口増大による生活への影響

人口増大による民間サービス参入に伴う
生活利便性の向上

学生が主体的にまちづくりに参入し、若者が増えると好循環に転じ、地域が活性化します



未来の対話をしませんか？



自分たちでやるんだ

やってくれる
「誰か」
なんかいない。



JCI高松×学生×まちづくり

今までのJCI高松に無かった、学生という若者の視点も取り入れて、彼らと一緒にまちづくりを行うことで、青年会議所メンバーと学生がお互いに切磋琢磨し成長するとともに、若者に選ばれる、そして持続可能なまちの創造を目指します。

高松をもっとおもしろく

「こんなイベント私が立ち上げてみたい」
や
「あんな店が高松に欲しい」
とか

もっと高松こうだったらいいなを
カタチにしたい。

そんな夢を実現させる過程で
ともにまちづくりに関わり、
お互いが高めあい、自己成長した
学生や我々青年会議所メンバーは
今後のまちの発展に
寄与します。



まちの
成長

学生の
自己成長



会員の
自己成長



J C | 高松×学生×魅力発信

うどん以外の地域特産品や伝統などの地域資源の情報だけでなく、写真映えスポットやグルメ情報など若者が欲しがっている情報を県内外に積極的に発信することで、**若者が訪れたいくなるまち**を創造します。



J C | 高松×学生×観光

若者目線のどんな観光地や観光プランなら訪れたいかを考えたり、参加したくなるようなイベントの企画をして、**若者が楽しめるまち**を創造します。

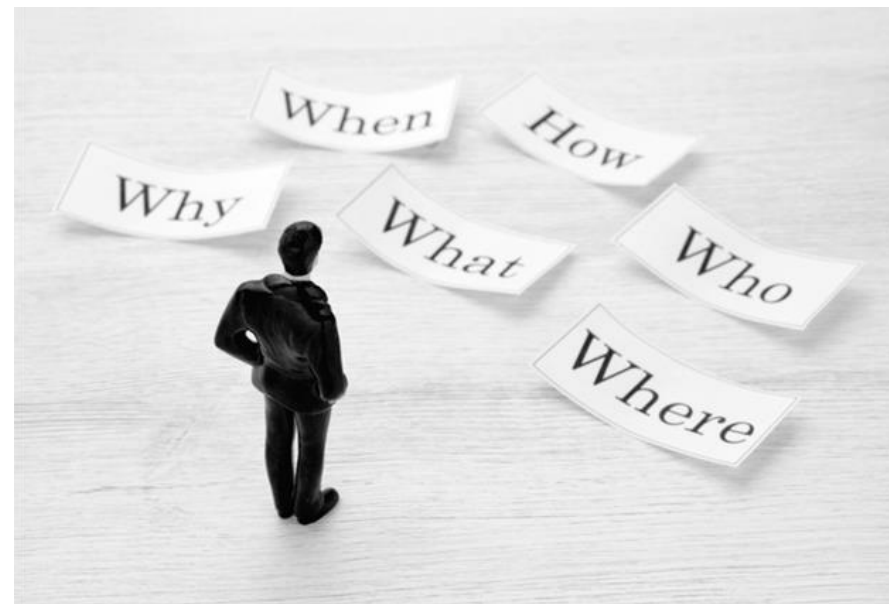


思い描いたまちになる。
“想像”から“創造”へ



J C | 高松×学生×商店街

流行の最先端にいる若者の意見を活かすとともに、彼ら自身に商店街を知ってもらい、利用頻度を増やし、**若者のあふれる商店街**を創造します。



J C | 高松×学生×移住促進

若者が考える仕事・育児・娯楽などの環境の条件を一緒に考え、出身者が帰ってきたくなる、そして、**若者が住みたくなるまち**の創造をします。



JCI高松 × 学生 × SDGs

JCI高松 × 学生 × 魅力発信



JCI高松 × 学生 × 観光



JCI高松 × 学生 × 移住促進



JCI高松 × 学生 × 商店街



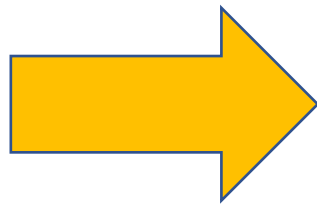
SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

まちづくりの活動を通じて左の図のように、SDGsへ取り組み、高松の持続可能な発展に繋がります。

日本一から目指してみませんか？



JCI高松 × 学生 × 魅力発信 × 観光
× 商店街 × 移住促進 × SDGs



日本一住みやすく、若者が憧れ、
いきいきと暮らせるまち

高松は災害が少なく、自然が豊かで気候も良いという、立地で大きなアドバンテージを有しています。私たちが手を取り合ってまちづくりを行えば、「日本一住みやすい、若者が憧れ、いきいきと暮らせるまち」になれる大きな可能性を秘めています。

また、彼ら学生と一緒にまちづくりをすることで、高松のまちにより愛着がわき、自分たちがまちのために貢献できることを知り、活動を通じて成長し、私たちだけでなく学生たちも、地域を担う人材へと変わっていくことができます。

このことは、高松の発展にも大きな力となり「明るい豊かな社会」の実現へ繋がると確信いたします。